



神奈鍼会報

第 173 号

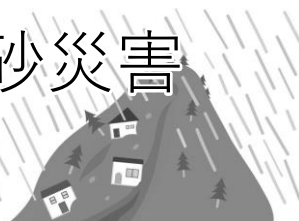
令和 3 年 10 月 5 日発行

発行人 一般社団法人 神奈川県鍼灸マッサージ師会 会長 伊勢山 竹 雄 編集者 太 田 修 二

〒231-0065 神奈川県横浜市中区宮川町 2-55 ルリエ横浜宮川町 304

ENCY//EMERGENCY//EMERGENCY//EMERGENCY//EMERGENCY//EMERGENCY//EME

静岡県熱海市伊豆山地区土砂災害 支援者支援活動報告



令和 3 年 7 月 3 日（土）午前10時12分、静岡県熱海市伊豆山地区逢初川にて、全長 2 km の土砂災害が発生した。

7 月 5 日（月）DSAM先遣隊として朝日山・榎本が現地入りした。熱海への道路状況は神奈川県より入る道は、ほとんど閉鎖されていたため、湯河原で車を駐車し、東海道線で熱海に入った。熱海では、榎本の親戚の車の案内で災害医療調整本部が設置されている熱海保健所に向かった。

発災直後より、JIMTEF（国際医療美術財団）の研修でお世話になっている静岡DMATの先生と連絡を取っていた。その先生の配慮で災害医療調整本部に入ることができた。そこで、保健所所長、静岡DMATの先生を紹介頂き、名刺交換を行い、情報収集を行った。鍼灸マッサージのニーズは高く、必要になるとの事だった。

しかし、この度の災害に対して、今まで災害時とは、次の点が違うことを伝えられた。

- （１）医療体制が災害本部下ではなく、保健所長下において活動している。
- （２）コロナ対策が懸念材料で厳しい。そのため静岡県限定でおこなっている。
- （３）災害が一部限定のため、通常の生活がおこなわれ、通常の医療が先行しているため、災害医療ではない。
- （４）ホテルが避難所を提供している等、特別な条件下で初めての支援活動となる。

7 月 7 日（水）昼間、榎本が調整本部にて、支援者と被災者支援についてDMATと打合せを行う一方、杉山校長、静岡県師会の会長斎藤恭二郎先生・朝日山等を中心に準備をしていたところ、急遽、熱海保健所長よりコロナ対策の観点から支援活動停止が榎本に伝え

ENCY//EMERGENCY//EMERGENCY//EMERGENCY//EMERGENCY//EMERGENCY//EME



られ、待機していたメンバーにその報告がなされ、災害支援は一旦様子を見ることになった。

その後、7月8日（木）東海療学園専門学校の杉山誠一校長のもとに、友人の市議会議員から消防署の職員が災害支援で疲れているので、施術をしてもらえないかとの依頼がきた。急遽、熱海消防署長にお会いし、消防署職員の支援にシフトすることにした。

DSAM矢津田委員長・杉山誠一校長、齋藤恭二郎会長・静岡県鍼灸師会大橋会長を含めた多くの会員によるZoomミーティングを数回行い、情報交換・情報共有、コロナに対するガイドラインや施術マニュアルの作成、施術機材等を協議した。

その結果、7月12日（月）再度熱海保健所に杉山校長、朝日山、榎本が消防署職員への支援の計画書やコロナ対策マニュアル等を提出、静岡県と熱海市からの様々な徹底事項等を伺い、消防署職員への支援者支援が許可された。条件は、静岡県内の鍼灸マッサージ師のみで行って頂きたい。しかし、通常の業務関係から緩和観て、他地区からは滞在地施術届の提出が条件となった。

更に、Zoom会議を重ね、施術日や施術者が決定し、施術に関しては感染予防マニュアルに基づき感染予防を徹底し、施術時間は15分を厳守とした。施術場所は熱海消防本部3階の窓付きの3部屋を提供していただき、受付・案内・施術者の役割も厳密に分け施術にあたった。



17日施術日程が決まると、榎本が他県から参加の先生の滞在証明書、名簿などを熱海保健所に赴き提出、参加が正式に許可された。しかし、県外からの参加は、その理由が求められた。DSAMから地元師会への引継ぎが目的であることを伝え許可を得たが、実質17日以後の他県からの支援は中止となった。

17日（土）消防士16名の方を施術者9名（DSAM矢津田委員長、榎本委員含む）で施術を行った。DSAMとしては17日をもって終了し、次回より杉山校長、齋藤会長、大橋会長に引き継ぎ、活動は継続されることになった。

その結果、18日（日）、19日（月）、20日（火）、22日（木）、26日（月）の5回の支援活動が実施され、消防士78名（施術者延べ43名）の施術を行うことができた。

災害発生から2週間という亜急性期への移行期で、今回のような依頼に対応できたことは、杉山校長の熱意、DSAMでの支援に入るノウハウ、静岡県師会の先生方は、熊本地震や西日本豪雨災害での支援経験が活かされた結果と言える。また、杉山校長の友人、榎本の知り合いや親戚の方も被災され、亡くなられた方がいられることから、受援者としての思いを抱きながらの活動であったことも忘れてはならない。

今回、急性期より消防署の依頼を受け、保健所からの許可を得ることができた。実際、自衛隊、医師、看護師等のニーズもあった。これらは長年おこなってきた災害支援に対する信頼度の表れであり、新たな一步を踏み出すことが出来たと言える。

その後、熱海消防署から、東海医療学園専門学校に感謝状が授与されたことも付け加えておきたい。

報告 全鍼師会スポーツ災害対策委員 朝日山 一男・榎本 恭子



第48回 神奈鍼学術大会報告

令和3年度、第48回神奈鍼学術大会は、WEB（ズーム）でのライブ配信にて講習会を開催いたしました。

講演内容は、予定ではオリンピック・パラリンピックの活動報告も兼ねておりましたが、組織委員会より、ポリクリニック等で参加された内容や写真は、公開の禁止の指導がありました。禁止されている理由の1つは「選手村の安全管理のため、またアンブッシュ・マーケティングの規定にも抵触する可能性がある」とのことです。したがって、全日本鍼灸マッサージ師会、日本鍼灸師会の申し合わせとして、内容の公開については行わないことになりました。そこで、急遽オリンピック・パラリンピックの内容に関し避けての講演となり、発表をお願いしておりました藤田先生には、来年組織委員会が解散してからの発表に延期させていただきました。

今回は3名の先生方の発表でしたが、素晴らしい発表をしていただき、ありがとうございました。又、WEB（ズーム）での発表にあたり、神奈鍼副会長の大淵先生に色々と手配していただき、ありがとうございました。

来年度は、対面での発表をできることを楽しみにしております。

1. 日 時：令和3年9月19日（日） 13：30～16：45
2. 会 場：今回はWEBでのライブ配信ため、ご自宅やPCが使える場所での受講でした。
3. 内 容：第1部 13：30～15：00
演題：「スポーツ現場における施術の実際」
講師：東海医療・神奈川衛生学園専門学校 非常勤講師
朝日山 一男 先生

第2部 15：10～16：30
「会員発表」
演題：「先天性疾患による車椅子生活から公務員への道のり」
演者：第4ブロック 榎本 恭子 先生

演題：「昨年江の島に建立された『杉山検校生誕410年記念像』について」
演者：第4ブロック 西村 博志 先生

第四ブロック普通救命講習会の報告

学術部次長 米田 匡宏



新型コロナウイルス感染対策をしながら
令和3年9月12日（日）に10名の受講者、
平塚市消防署職員による普通救命講習①
「コロナ対策モデル」を無事開催する事が
出来ました。



この度は感染防止対策を徹底とした開催となり、検温、消毒、健康チェックシート、不織布マスク、ゴム手袋着用、サーキュレーター4台で換気、会場は定員数半分以下で間隔を十分に空けた対策で設営致しました。

施術中、ボランティア活動中、私生活において救命技能を有している事は、私達の職域において重要だと思います。

今年度は終了となりましたが、来年度はより多くの会員様にご参加される事を切に願います。



保険局より

神奈川県国民健康保険団体連合会審査会

保険局長 角田 敏男

平素は保険局の活動にご協力を賜り、御礼申し上げます。

さて、長年業界団体が実現に向けて取り組んでまいりました受領委任協定が締結され、本格的に動き出しましたが、国保連合会の中で行われているあはき療養費の審査会に、業界団体から審査員を参加させていただく件について神奈鍼保険局でも交渉をしてまいりました。

その結果本年度より神奈鍼保険局より2名(往田 松野)の審査員が国保連合会におけるあはき療養費審査会に参加しています。

総務部より

かながわ鍼灸マッサージ推進協議会より

平素は神奈鍼会務に関し格別のご協力を賜り、御礼申し上げます。

さて、すでにご案内の通り、神奈鍼では県内同業団体と「かながわ鍼灸マッサージ推進協議会」（以下推進協）という枠組みを作り、定期的に諸課題についての協議を行い、また合同で賀詞交歓会等の行事を行うなどしてまいりました。

そのような中で、神奈川県議会の中には「かながわ自民党鍼灸マッサージを考える会」を発足いただき、様々なご相談をしています。

こういった努力があり、令和3年には県内同業者を代表して推進協は「神奈川県との災害時連携協定」を締結することができました。この協定を結ぶことで、登録した会員が、大規模災害発生時には神奈川県からの要請に応じ医療救護応援の一環として「はり」「きゅう」「あん摩マッサージ指圧」を通じ、被災された方々への支援を行うことができるようになりました。必要な費用についても神奈川県から支出されることになっています。

この活動にまだ登録されていない先生で、災害時にはご協力いただけるという方がいらっしゃいましたら、是非ご登録ください。

登録については神奈鍼事務所までお問い合わせください。

新横浜の会場においてあはき師への新型コロナウイルスのワクチン職域接種についても、神奈川県自民党議連への要請の結果実現することができました。

高齢者祝金支給予定者



米 寿 (88歳)

小野寺 秀 夫 藤 沢 吉 田 孝 子 横須賀三浦

喜 寿 (77歳)

江 正 樹	鎌倉逗葉	佐々木 眞 夫	秦 野	石 村 博 浜 鍼
千 葉 寛 一	川 崎	大 橋 八重子	湯河原	石 山 美代子 湯河原
浦 邊 洋 介	浜 鍼	岡 野 幸 生	小田原	青 池 日子也 藤 沢
高 橋 吉四郎	川 崎	小 島 りき子	川 崎	田 戸 あさ子 藤 沢
藤 川 裕 子	湯河原	竹 中 徳 子	浜 鍼	矢 作 一 實 鎌倉逗葉



